

# 病院概況



令和4年8月  
茨城県立こころの医療センター

茨城県笠間市旭町 654  
電話 0296(77)1151

## 茨城県の精神科医療の状況と当院の役割

(「第7次茨城県保健医療計画」より)

精神疾患は、近年その患者数が急増しており、平成26年には全国で390万人を超える水準となっています。国の調査結果では、国民の4人に1人(25%)が生涯でうつ病等の気分障害、不安障害及び物質関連障害のいずれかを経験していることが明らかとなっており、誰もが罹患する可能性のある病気です。本県における精神疾患の入院患者数は5,898人(平成28年6月末現在)で、通院患者数は36,130人(平成29年3月末現在)となっています。入院患者数は減少傾向ですが、通院患者数は年々増加しています。通院患者数の疾病別の内訳では、統合失調症が13,297人(36.8%)で最も多く、次いでうつ病等の気分障害が12,632人(35.0%)となっていますが、うつ病等の気分障害は急増しており、また、高齢化に伴い認知症も増加しています。また、全国の自殺者数は平成10年以降14年連続で3万人を超える水準でしたが、平成24年に3万人を下回って以降は減少傾向を示しています。しかし、自殺死亡率は主要国の中で高い水準にあり、依然として厳しい状況にあります。本県における自殺死亡率(人口10万対)は、年々減少傾向にありますが、平成28年は17.1となっており、全国平均の16.8よりも高い水準で推移しています。

県立こころの医療センターは、県内精神科医療の基幹病院として、次の医療等を提供しています。

- ・ 統合失調症などの精神疾患に関する診断治療のほか、精神科救急医療や児童・思春期精神疾患、発達障害、薬物・アルコール依存症、医療観察法対象患者に対する精神科専門医療を提供するとともに、睡眠障害の診断治療を行っています。
- ・ 重度の症状を呈する精神科急性期患者等に対応するため、医師・看護師等を常時配置する常時対応型精神科救急医療施設としての役割を果たしています。
- ・ 患者の症状や病態に応じた適切な医療を提供するためには、医療機関同士が相互に連携協力することが重要であることから、関係機関とのネットワークづくりを推進しています。
- ・ 在宅の精神障害者を支援するため、医師や看護師、精神保健福祉士等が積極的に地域に出向き、会議や訪問活動に参加するアウトリーチ活動を実施しています。
- ・ 当院医師を中央病院やこども病院に派遣し、精神疾患を合併した身体疾患患者に対するリエゾン回診を行っています。

## 目次

I	病院の沿革	4
II	組織	6
III	職種別職員現員調	7
IV	概況	8
i	こころの医療センター	8
1	敷地・建物	8
(1)	敷地面積	8
(2)	建物面積	8
2	診療科目	8
3	病床数	9
4	施設基準等	9
5	患者の状況	10
(1)	外来患者	10
(2)	入院患者	11
(3)	病棟別病床利用の状況	12
(4)	在院患者の疾病区分	13
(5)	在院患者の年齢構成	13
(6)	在院患者の費用区分	13
(7)	在院患者の在院期間	14
(8)	在院患者の入院形態別	14
(9)	新規入院患者の入院形態	14
(10)	病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和3年度）	15
(11)	退院患者の在院期間	15
(12)	退院患者の転帰別状況	15
(13)	診療圏	16
6	専門医療	17
(1)	精神科救急医療	17
(2)	薬物等中毒性精神障害治療	17
(3)	児童・思春期精神科医療	18
①	外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移	18
②	20歳未満の初診患者の年齢構成	18
③	児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移	18
④	入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）	19
(4)	医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数	19
7	各部門の実施状況	20
(1)	リハビリテーション部	20
①	デイケア	20
②	作業療法	21
③	理学療法	22
(2)	総合診療部	23
①	心理室	23
②	栄養科	24
③	薬剤科	24
④	研究検査科	25
(3)	福祉連携サービス部	26
①	医療福祉相談室	26
②	地域医療連携室	26
(4)	訪問看護	29
ii	睡眠医療クリニック	30
1	外来患者	30
2	主な検査実績	31
3	診療圏（令和3年度）	31

V	決算の状況.....	32
1	損益計算書（税抜き）.....	32
2	貸借対照表（税抜き）.....	33
3	財務分析.....	34
4	経営分析.....	35
VI	令和4年度予算.....	36
1	収益的収入及び支出.....	36
2	資本的収入及び支出.....	36

## I 病院の沿革

当院は、東茨城郡下中妻村（現在の水戸市（旧内原町））にあった全国農業会内原病院を買収し、県内唯一の県立精神病院として、精神衛生法が制定された昭和25年5月に茨城県立内原精神病院として開設された。

しかし、開院後まもなく病床の不足をきたしたため、施設の拡充整備を重ね、医療需要に対応してきたが、更なる病床不足、敷地の狭隘、施設の老朽化等のため、昭和30年に病院の再建計画が始まり、昭和35年8月、現在地に茨城県立友部病院として開設された。

当院は開設当初から、患者の社会復帰の促進を念頭においた思い切った病棟開放性の導入など、積極的な開放治療を展開し、一般科病院との格差是正を試み、全国から「東洋一」として注目を浴びた。

その後も、本県における精神科病院の基幹病院として治療困難な患者の受け入れを行うとともに、生活療法、作業療法、レクリエーション療法及び精神科デイケアを積極的に推進するなど、精神障害者の社会復帰に成果を上げてきた。

また、精神科医療の臨床実習・研修病院として県内の看護専門学校（校）、筑波大学、茨城大学等の実習学生等を受け入れ、実地指導を行うとともに、臨床研修医の研修病院として専門医の養成と教育の場としても貢献している。

平成8年4月からは、訪問看護に2名の専任の専門職員を配置し、社会生活支援活動を実施し、平成16年4月には、患者の社会復帰を促進するとともに、地域における精神障害者の支援等、総合的な地域精神保健対策を進めるため、新たに社会復帰支援室を設け、患者の社会復帰促進事業にも力をいれている。

また、長期入院患者（社会的入院患者）の社会復帰を促進した結果、病棟間において医療・看護サービスに格差が生じたため、平成8年7月に、12病棟を11病棟に統合した。

さらに平成11年4月には10病棟へ、平成16年4月には9病棟、平成18年4月には、8病棟、平成19年4月には、7病棟と統廃合を行った。

一方、平成14年7月には新たに児童・思春期専門病棟32床を開設するなど、効率の良い運用と管理体制の整備による再編成を推進している。

また、開設以来実施されてきた性別看護にかえて、男性及び女性看護師による混合看護を平成8年度より1ヶ病棟において開始し、現在は全病棟で実施している。

これら病棟の再編成等を進めるとともに、精神障害のために自傷・他害のおそれがあり、かつ緊急に医療及び保護が必要と認められる精神障害者に対し、精神保健福祉法第24条の規定に基づく警察官通報に限定した休日（昼間）の救急業務を平成8年10月に開始、更に平成16年3月には平日夜間（21時まで受付）に拡大、平成19年4月には24時間365日の受け入れを開始した。

また、平成17年度からは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」の規定に基づく鑑定入院及び指定通院医療の受け入れを開始、平成20年8月からは、3-1病棟において精神科救急入院料いわゆるスーパー救急の算定を開始するなど更なる手厚い看護の実施と政策医療にも積極的に取り組んでいる。

平成18年度からは、病院運営の効率化や経営の健全化を図ることを目的として地方公営企業法の全部適用による運営を行っている。

病院建築後49年が経過し、施設・設備の老朽化・狭隘化により、入院・外来患者に対する望ましい医療サービスの提供や県民の多様化する精神科医療のニーズに十分対応することが困難な状況となっていることから、県立友部病院の運営とあり方に検討が進められ、平成19年5月に報告書が示された。この報告書の提言を踏まえ、平成19年9月、県民の求める安心・安全な、質の高い精神科医療の実現のため、『新生友部病院』開院を目指し、平成21年8月に工事に着手した。

平成23年4月に「茨城県立こころの医療センター」と名称を変更。10月1日に新病院で診療開始。

平成27年4月に院内に睡眠障害の検査・治療及び臨床研究を行う「茨城県睡眠医療センター」を開設し、さらに、平成29年1月には、水戸市内に当院の附属医療機関として「県立睡眠医療クリニック」を開設。令和2年3月より新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策として、入院患者の外泊等及び家族等による面会の制限、他機関との連携の制限、外来診療における電話診療等に取り組んでいる。

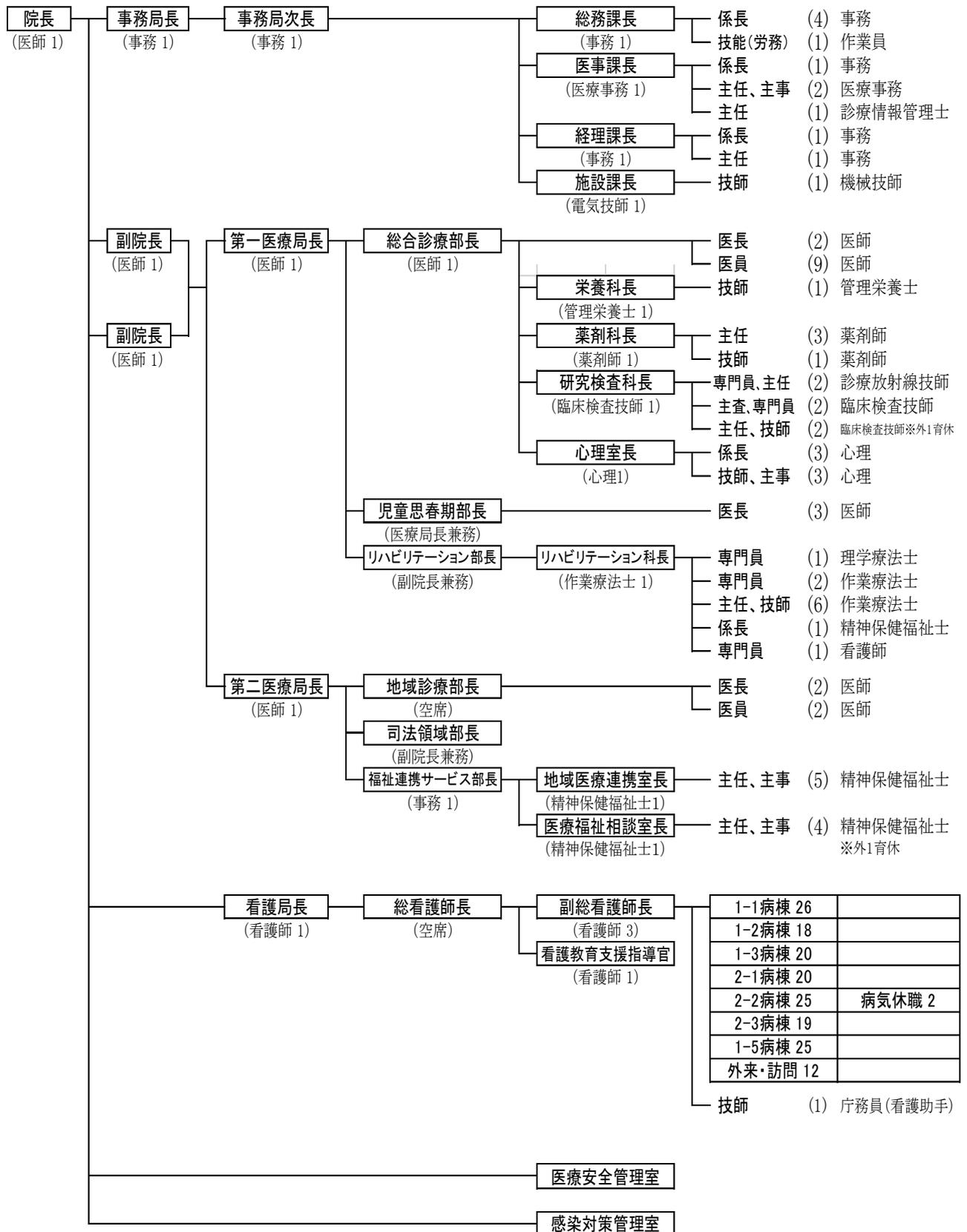
令和3年10月に「県立睡眠医療クリニック」は県としての一定の役割を果たしたことから閉院し、本院のみの診療とした。

## 病院開設以来の主な歩み

昭和25年 5月	茨城県立内原精神病院開設（113床）
昭和32年10月	茨城県立内原病院と改称
昭和35年 6月	茨城県立友部病院設置・内原病院を友部病院内原分院に改組
昭和35年 8月	茨城県立友部病院開設（180床）
昭和39年10月	茨城県立友部病院内原分院廃止
昭和42年 4月	日本精神神経学会より「呉秀三賞」受賞
昭和45年 9月	Ⅱ類基準看護承認（48年9月Ⅰ類に変更，53年1月特Ⅰ類に変更）
昭和50年12月	精神障害者社会復帰施設「デイケアセンター」竣工
昭和51年12月	定床数611となる
昭和55年 7月	厚生省認可「精神科デイケア施設」として開所
昭和61年 3月	レクリエーションセンター竣工
昭和61年 8月	精神科作業療法の施設基準の承認
平成 元年10月	応急入院指定病院に指定
平成 5年 7月	「茨城県立友部病院将来構想」策定
平成 6年 3月	「茨城県立友部病院改築整備基本計画」策定
平成 6年 4月	プロジェクトチーム「社会生活支援室」を設置
平成 8年 7月	2病棟統合，1病棟を休棟・男女混合勤務（看護）を実施
平成 8年10月	精神科救急の実施（精神保健福祉法第24条適用）
平成10年 5月	2病棟で男女混合勤務を実施
平成11年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟
平成12年 4月	適時適温給食を実施
平成12年10月	茨城県立友部病院開設50周年記念式典
平成14年 7月	児童・思春期専門病棟（つくし）開設 定床数589となる
平成16年 2月	定床数586となる
平成16年 3月	精神科救急を平日夜間（9時まで受付）まで拡大
平成16年 4月	2病棟統合，1病棟を休棟 「社会復帰支援室」を設置
平成17年 3月	定床数583となる
平成18年 3月	定床数576となる
平成18年 4月	1病棟を休棟，定床数573となる 地方公営企業法の全部適用に伴い，保健福祉部から病院局の所管となる
平成19年 4月	1病棟を休棟，定床数558となる 精神保健福祉法第24条に基づく患者について，24時間365日受入れを開始
平成20年 2月	「県立友部病院整備基本計画」策定
平成20年 4月	定床数547床となる
平成20年 8月	精神科救急入院料算定開始
平成21年 5月	定床数541床となる
平成23年 4月	茨城県立こころの医療センターと改称
平成23年10月	新病院で診療を開始，定床数537床となる 医療観察法病棟開棟・指定入院医療機関として処遇開始
平成24年 4月	東京建築賞「最優秀賞」受賞
平成25年 8月	全国自治体病院協議会精神科特別部会 第51回総会・研修会開催
平成26年 4月	医療福祉建築賞受賞
平成26年 8月	精神科救急入院料（85床）取得
平成27年 4月	院内に「茨城県睡眠医療センター」を開設
平成27年12月	定床数535床となる 精神科救急入院料83床で運用
平成29年 1月	「県立睡眠医療クリニック」を水戸市内に開設
平成29年11月	定床数525床となる
平成30年 6月	精神科急性期治療病棟入院料（35床）取得
令和3年10月	「県立睡眠医療クリニック」を閉院

## II 組織

令和4年4月1日現在





## IV 概況

### i こころの医療センター

#### 1 敷地・建物

##### (1) 敷地面積

病院敷地 128,683.96 m<sup>2</sup>

##### (2) 建物面積

建 物		建築面積 (m <sup>2</sup> )	延 (m <sup>2</sup> )
新病院	新病院本館	8,641.67	14,820.69
	思春期デイケア棟	207.00	175.89
	医療観察法病棟	1,889.23	1,851.76
	計	10,737.90	16,848.34
旧病院	農耕作業棟	198.70	198.70
	温室	68.04	68.04
	デイケア施設	1,298.44	1,298.44
	1病棟	845.62	845.62
	2病棟	1,082.34	1,082.34
	3病棟	738.72	1,646.28
	5病棟	777.60	1,724.04
	サービス棟	989.08	989.08
	第2サービス棟	205.20	205.20
	倉庫(布団庫)	58.32	58.32
	プロパンボンベ舎	12.66	12.66
	貯水槽ポンプ舎	7.08	7.08
	オイルギアポンプ舎	4.30	4.30
	ポンプ舎	3.21	3.21
	変電室	38.88	38.88
	裁縫作業所	26.50	26.50
	動物舎	41.16	41.16
計	6,395.85	8,249.85	

#### 2 診療科目

精神科 児童精神科 心療内科 神経内科

### 3 病床数

令和4年4月1日現在 許可525床 運用276床

病棟名	定床数	運用病床数	性別	開閉別	摘要	
新病院	1-1	40(10)	40(10)	混合	閉鎖	救急医療
	1-2	45(8)	45(8)	混合	閉鎖	合併症・総合医療
	1-3	36(4)	36(4)	混合	閉鎖	児童思春期医療
	1-5	18(1)	18(1)	混合	閉鎖	医療観察法
	2-1	34(13)	34(13)	混合	閉鎖	急性期
	2-2	43(10)	43(10)	混合	閉鎖	救急医療
	2-3	60(6)	60(6)	混合	開放・閉鎖	社会復帰
	計	276(52)	276(52)			
旧病院	1	31(2)	0(0)			休棟
	2	48(2)	0(0)			休棟
	3-1	37(9)	0(0)			休棟
	3-2	44(0)	0(0)			休棟
	5-1	41(0)	0(0)			休棟
	5-2	48(2)	0(0)			休棟
	計	249(15)	0(0)			
合計	525(67)	276(52)				

\* 定床数、運用病床数のうち（ ）書きは保護室等強化した個室の数で内数である。

### 4 施設基準等（令和4年4月1日現在）

精神科救急急性期医療管理料(83床)  
 精神科急性期治療病棟入院料1(34床)  
 児童・思春期精神科入院医療管理料(36床)  
 精神病棟入院基本料1.5対1(105床)  
 救急医療管理加算  
 臨床研修病院入院診療加算  
 診療録管理体制加算2  
 看護配置加算  
 看護補助加算1  
 療養環境加算  
 精神科応急入院施設管理加算  
 精神病棟入院時医学管理加算  
 精神科地域移行実施加算  
 精神科身体合併症管理加算  
 医療安全対策加算1 感染防止対策加算2  
 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算  
 精神科急性期医師配置加算1, 2  
 摂食障害入院医療管理加算  
 依存症入院医療管理加算

患者サポート充実体制加算  
 後発医薬品使用体制加算3  
 精神科退院時共同指導料  
 認知療法・認知行動療法I  
 ニコチン依存症管理料  
 薬剤管理指導料  
 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料遠隔モニタリング加算  
 検体検査管理加算II  
 遠隔画像診断  
 MRI撮影(3.0テスラ以上)  
 CT撮影(16列以上)  
 児童思春期精神科専門管理加算  
 精神科作業療法  
 精神科ショート・ケア(大規模)  
 精神科デイ・ケア(大規模)  
 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料  
 医療保護入院等診療料  
 入院時食事療養費(I)

## 5 患者の状況

### (1) 外来患者

単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
平成 28 年度	初 診	124	94	117	123	134	118	119	117	116	100	99	109	1,370	279.7 (244 日)
	再 診	5,529	5,373	5,592	5,521	5,879	5,710	5,526	5,579	5,401	5,486	5,239	6,045	66,880	
	延患者数	5,653	5,467	5,709	5,644	6,013	5,828	5,645	5,696	5,517	5,586	5,338	6,154	68,250	
平成 29 年度	初 診	88	112	118	122	125	102	125	120	100	114	101	96	1,323	281.5 (244 日)
	再 診	5,417	5,535	5,613	5,512	6,014	5,396	5,755	5,877	5,675	5,418	5,280	5,880	67,372	
	延患者数	5,505	5,647	5,731	5,634	6,139	5,498	5,880	5,997	5,775	5,532	5,381	5,976	68,695	
平成 30 年度	初 診	98	105	107	130	108	91	113	105	98	88	95	104	1,242	276.3 (244 日)
	再 診	5,383	5,888	5,395	5,626	5,989	5,008	5,939	5,719	5,439	5,260	5,078	5,446	66,172	
	延患者数	5,483	5,993	5,502	5,756	6,097	5,099	6,052	5,824	5,537	5,348	5,173	5,550	67,414	
令和元年度	初 診	97	93	109	125	104	105	112	85	104	106	97	85	1,222	276.9 (242 日)
	再 診	5,317	5,518	5,267	5,903	5,239	5,338	6,054	5,395	5,517	5,553	4,970	5,719	65,790	
	延患者数	5,414	5,611	5,376	6,028	5,343	5,443	6,166	5,480	5,621	5,659	5,067	5,804	67,012	
令和 2 年度	初 診	110	87	132	101	87	113	103	89	97	100	97	120	1,236	272.1 (243 日)
	再 診	5,562	4,764	5,315	5,840	5,226	5,454	5,861	5,224	5,556	5,266	4,859	5,950	64,877	
	延患者数	5,672	4,851	5,447	5,941	5,313	5,567	5,964	5,313	5,653	5,366	4,956	6,070	66,113	
令和 3 年度	初 診	144	164	200	161	136	128	131	112	114	129	152	155	1,726	281.0 (242 日)
	再 診	5,652	5,043	5,560	5,643	5,546	5,553	5,609	5,585	5,646	5,303	5,114	6,018	66,272	
	延患者数	5,796	5,207	5,760	5,804	5,682	5,681	5,740	5,697	5,760	5,432	5,266	6,173	67,998	

## (2) 入院患者

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
平成 28 年度	入 院	82	95	87	72	95	66	92	63	74	73	75	86	960	223.0 (365 日)
	退 院	74	78	77	82	91	84	85	64	81	73	69	100	958	
	延患者数	6,284	6,845	7,210	7,222	7,350	6,757	6,781	6,858	6,784	6,692	5,949	6,647	81,379	
平成 29 年度	入 院	74	78	71	78	74	75	70	60	73	71	71	70	865	217.9 (365 日)
	退 院	69	63	80	73	76	81	66	69	79	52	79	67	854	
	延患者数	6,221	6,809	6,781	7,043	6,911	6,576	6,829	6,394	6,408	6,574	6,161	6,836	79,543	
平成 30 年度	入 院	62	72	82	94	87	68	71	78	66	74	49	69	872	227.5 (365 日)
	退 院	68	76	78	68	102	54	78	70	71	73	41	78	857	
	延患者数	6,306	5,617	6,270	7,053	7,174	6,802	7,194	7,090	7,354	7,258	6,563	7,443	83,024	
令和元年度	入 院	61	66	77	81	60	64	69	76	68	77	64	78	841	216.5 (366 日)
	退 院	71	80	63	73	78	74	65	69	78	62	70	81	864	
	延患者数	6,857	6,779	6,504	7,231	6,929	6,254	6,340	6,243	6,516	6,556	6,406	6,628	79,243	
令和 2 年度	入 院	71	69	66	90	84	84	80	73	62	74	62	87	902	215.5 (365 日)
	退 院	71	64	68	83	93	81	65	82	69	79	67	79	901	
	延患者数	6,314	6,591	6,425	6,856	6,738	6,472	6,782	6,765	6,727	6,457	5,721	6,813	78,661	
令和 3 年度	入 院	65	66	85	74	77	52	75	57	69	43	50	66	779	200.7 (365 日)
	退 院	69	77	76	61	79	82	59	59	67	68	49	72	818	
	延患者数	6,276	6,544	6,275	6,654	6,751	5,925	6,060	6,079	6,239	5,953	4,910	5,592	73,258	

## (3) 病棟別病床利用の状況

		1-1病棟	1-2病棟	1-3病棟	2-1病棟	2-2病棟	2-3病棟	小計	1-5病棟	合計
運用病床数 (各年度末) (床)	平成30年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
	令和元年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
	令和2年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
	令和3年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
延患者数 (人)	平成30年度	12,822	14,173	9,817	11,147	12,850	16,142	76,951	6,073	83,024
	令和元年度	12,784	12,558	10,125	10,665	13,022	14,011	73,165	6,078	79,243
	令和2年度	12,554	9,713	9,731	10,788	12,535	17,313	72,634	6,027	78,661
	令和3年度	12,156	4,648	9,315	11,047	11,706	17,998	66,870	6,388	73,258
1日平均 患者数 (人)	平成30年度	35.1	38.8	26.9	30.5	35.2	44.2	210.8	16.6	227.5
	令和元年度	34.9	34.3	27.7	29.2	35.6	38.3	199.9	16.6	216.5
	令和2年度	34.4	26.6	26.7	29.5	34.3	47.4	199.0	16.5	215.5
	令和3年度	33.3	12.7	25.5	30.3	32.1	49.3	183.2	17.5	200.7
病床 利用率 (対運用病床) (%)	平成30年度	87.8	86.3	76.8	87.3	81.9	73.7	81.7	92.4	82.4
	令和元年度	87.3	76.3	79.0	83.3	82.7	63.8	77.5	92.2	78.4
	令和2年度	86.0	59.1	76.2	84.4	79.9	79.1	77.1	91.7	78.1
	令和3年度	83.2	28.1	72.8	86.6	74.5	82.2	71.0	97.2	72.7
新入院 患者数 (人)	平成30年度	238	10	87	218	248	68	869	3	872
	令和元年度	233	11	77	212	236	69	838	3	841
	令和2年度	258	27	143	134	271	62	895	7	902
	令和3年度	202	41	101	115	251	61	771	8	779
退院 患者数 (人)	平成30年度	210	37	88	209	221	89	854	3	857
	令和元年度	214	44	91	208	200	104	861	3	864
	令和2年度	224	45	160	129	248	88	894	7	901
	令和3年度	191	41	136	118	231	95	812	6	818
平均 在院日数 (日)	平成30年度	56.3	601.5	111.2	51.2	53.9	204.5	88.3	2023.3	95.0
	令和元年度	56.2	455.1	119.5	49.8	58.8	160.8	85.1	2025.0	91.9
	令和2年度	51.1	268.5	63.1	80.9	47.3	229.6	80.2	860.0	86.2
	令和3年度	60.9	156.1	78.7	93.0	47.5	232.0	84.4	1211.3	91.7

## (4) 在院患者の疾病区分

単位：人

区分 年度	統合失調症	気分障害	器質性精神障害	精神神経症	その他精神病	てんかん	中毒性精神障害	精神遅滞	その他	精神病質	計
平成28年度末	124	26	8	10	16	1	8	6	4	-	203
平成29年度末	130	37	11	10	15	2	6	2	0	1	214
平成30年度末	118	37	1	14	30	1	14	6	8	-	229
令和元年度末	114	33	6	15	24	1	3	9	1	-	206
令和2年度末	117	28	4	4	31	2	10	3	8	-	207
令和3年度末	101	26	4	7	17	0	6	6	1	-	168

## (5) 在院患者の年齢構成

単位：人

区分 年度	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上	計
平成28年度末	15	18	31	47	40	29	23	203
平成29年度末	21	17	21	41	50	30	34	214
平成30年度末	36	30	24	36	46	28	29	229
令和元年度末	31	21	27	33	40	28	26	206
令和2年度末	30	24	30	39	35	24	25	207
令和3年度末	22	22	25	28	36	18	117	168

## (6) 在院患者の費用区分

単位：人

区分 年度	措置	国民健康保険	社会保険	老保 後期高齢者	生活保護	医療観察法	その他	計
平成28年度末	7	100	42	16	23	15	0	203
平成29年度末	5	95	51	18	27	16	2	214
平成30年度末	4	101	74	11	21	16	2	229
令和元年度末	6	88	57	15	19	16	5	206
令和2年度末	4	93	64	8	22	16	0	207
令和3年度末	4	74	50	5	17	18	0	168

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

## (7) 在院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
平成28年度末	126	56	10	11	203
平成29年度末	150	46	8	10	214
平成30年度末	152	54	13	10	229
令和元年度末	139	42	17	8	206
令和2年度末	149	34	17	7	207
令和3年度末	115	36	10	7	168

## (8) 在院患者の入院形態別

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医療 観察法	その他	計
平成28年度末	7	147	0	34	15	0	203
平成29年度末	5	153	0	39	16	1	214
平成30年度末	4	159	0	48	16	2	229
令和元年度末	6	147	0	34	16	3	206
令和2年度末	4	150	0	37	16	0	207
令和3年度末	4	116	0	30	18	0	168

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

## (9) 新規入院患者の入院形態

単位：人

区分 年度	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医療 観察法	その他	計
平成28年度	81	464	1	375	6	33	960
平成29年度	80	426	1	349	9	0	865
平成30年度	56	457	3	351	3	2	872
令和元年度	40	420	11	363	3	4	841
令和2年度	45	554	9	285	7	2	902
令和3年度	40	489	5	235	8	2	779

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(10) 病棟別新規入院患者の入院形態別患者数（令和3年度）

単位：人

区分 病棟	措置入院	医療保護 入院	応急入院	任意入院	医療 観察法	その他	計
1－1病棟	19	141	1	40	0	1	202
1－2病棟	1	36	1	3	0	0	41
1－3病棟	1	75	0	25	0	0	101
2－1病棟	1	79	1	34	0	0	115
2－2病棟	18	155	2	75	0	2	252
2－3病棟	0	3	1	58	0	0	61
小計	40	489	5	235	0	0	772
1－5病棟	0	0	0	0	7	0	7
合計	40	489	5	235	7	3	779

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(11) 退院患者の在院期間

単位：人

区分 年度	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上	計
平成28年度	795	105	26	32	958
平成29年度	697	94	31	32	854
平成30年度	693	107	26	31	857
令和元年度	689	91	47	37	864
令和2年度	736	102	30	33	901
令和3年度	661	94	28	35	818

(12) 退院患者の転帰別状況

単位：人

区分 年度	転 帰						退院先				計
	寛解	軽快	悪化	未治 不変	死亡	その他	自宅	施設	転院	その他	
平成28年度	9	676	0	272	1	0	726	144	88	0	958
平成29年度	0	642	1	209	2	0	639	117	90	8	854
平成30年度	12	631	0	211	3	0	661	120	67	9	857
令和元年度	26	617	0	217	4	0	690	114	54	6	864
令和2年度	0	746	0	151	4	0	672	142	83	4	901
令和3年度	2	702	1	108	5	0	613	140	63	2	818

## (13) 診療圏

## ① 在院患者 (令和4年3月31日現在)

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	35	20.9	鹿嶋市	5	3.0	東茨城郡	12	7.1
日立市	5	2.9	潮来市	0	0	那珂郡	1	0.6
土浦市	7	4.2	守谷市	0	0	久慈郡	0	0
古河市	3	1.7	常陸大宮市	3	1.8	稲敷郡	2	1.2
石岡市	7	4.1	那珂市	4	2.4	結城郡	0	0
結城市	0	1.8	筑西市	2	1.2	猿島郡	2	1.2
龍ヶ崎市	0	0	坂東市	1	0.6	北相馬郡	1	0.6
下妻市	0	0	稲敷市	0	0	<b>郡計</b>	<b>18</b>	<b>10.7</b>
常総市	0	0	かすみがうら市	2	1.2	<b>県内合計</b>	<b>166</b>	<b>98.6</b>
常陸太田市	3	1.8	桜川市	4	2.4			
高萩市	0	0	神栖市	4	2.4	東京都	1	0.6
北茨城市	2	1.2	行方市	2	1.2	その他県	1	0.6
笠間市	29	17.2	鉾田市	5	3.0	<b>県外合計</b>	<b>2</b>	<b>1.2</b>
取手市	4	2.4	つくばみらい市	0	0			
牛久市	1	0.6	小美玉市	7	4.1			
つくば市	6	3.6	<b>市計</b>	<b>148</b>	<b>88.1</b>			
ひたちなか市	7	4.2				<b>総計</b>	<b>168</b>	<b>100</b>

## ② 外来患者 (令和3年度)

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	1,648	22.3	鹿嶋市	88	1.2	東茨城郡	385	5.2
日立市	312	4.2	潮来市	46	0.6	那珂郡	86	1.2
土浦市	163	2.2	守谷市	23	0.3	久慈郡	19	0.3
古河市	20	0.2	常陸大宮市	127	1.7	稲敷郡	57	0.8
石岡市	379	5.1	那珂市	154	2.1	結城郡	4	0.1
結城市	45	0.6	筑西市	118	1.6	猿島郡	15	0.2
龍ヶ崎市	33	0.4	坂東市	23	0.3	北相馬郡	5	0.1
下妻市	31	0.4	稲敷市	17	0.2	<b>郡計</b>	<b>571</b>	<b>7.9</b>
常総市	14	0.2	かすみがうら市	67	0.9	<b>県内合計</b>	<b>6,646</b>	<b>98.4</b>
常陸太田市	167	2.3	桜川市	173	2.3			
高萩市	40	0.5	神栖市	118	1.6	東京都	31	0.4
北茨城市	49	0.7	行方市	115	1.6	その他県	88	1.2
笠間市	1,489	20.1	鉾田市	191	2.6	<b>県外合計</b>	<b>119</b>	<b>1.6</b>
取手市	44	0.6	つくばみらい市	19	0.3			
牛久市	46	0.6	小美玉市	336	4.5			
つくば市	164	2.2	<b>市計</b>	<b>6,713</b>	<b>90.5</b>			
ひたちなか市	454	6.1				<b>総計</b>	<b>7,403</b>	<b>100</b>

## 6 専門医療

### (1) 精神科救急医療

	精神保健福祉法警察官通報						左記以外の申請・通報等						一般救急				計							
	診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	内訳 (入院形態)			休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)		診 察	入 院	休日 夜間 (再掲)			
			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			措置 (緊急措置)	医 療 保 護	そ の 他	診 察	入 院			診 察	入 院			診 察	入 院	診 察	入 院
平成 28 年度	118	97	76	20	1	108	88	5	3	3	0	0	0	0	1,278	427	301	111	1,401	527	409	208		
平成 29 年度	102	87	76	11	0	94	80	7	5	3	2	0	2	2	1,213	420	237	104	1,322	513	333	186		
平成 30 年度	70	58	50	7	1	65	53	16	10	6	4	0	3	1	1,173	414	262	133	1,259	482	330	187		
令和元年度	36	33	30	3	0	31	28	16	11	10	1	0	0	0	927	424	290	124	979	468	321	152		
令和 2 年度	53	41	37	4	0	43	34	12	10	8	2	0	1	1	960	504	357	154	1,025	555	401	189		
令和 3 年度	55	43	35	8	0	46	37	10	6	5	1	0	2	1	829	423	281	135	894	472	329	173		

※「一般救急」は、患者家族・市町村・保健所等からの相談等による救急受診の件数である。

※「一般救急」の「診察」件数

### (2) 薬物等中毒性精神障害治療

#### 入院

年 度	受入れ実績
平成 28 年度	118 人
平成 29 年度	85 人
平成 30 年度	86 人
令和元年度	81 人
令和 2 年度	70 人
令和 3 年度	57 人

#### 外来

年 度	受診 (実人員)
平成 28 年度	307 人
平成 29 年度	383 人
平成 30 年度	375 人
令和元年度	343 人
令和 2 年度	374 人
令和 3 年度	371 人

(3) 児童・思春期精神科医療

① 外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移

年度	外来初診者数 (A)	20歳未満の初診患者	
		患者者数(B)	割合(B/A)
平成28年度	1,370人	416人	30.4%
平成29年度	1,323人	401人	30.3%
平成30年度	1,242人	338人	27.2%
令和元年度	1,222人	340人	27.8%
令和2年度	1,236人	356人	28.8%
令和3年度	1,726人	494人	28.6%

② 20歳未満の初診患者の年齢構成

年度	12歳以下 (A)	13～15歳 (B)	16～18歳	19歳	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
平成28年度	124人	149人	112人	31人	416人	65.6%
平成29年度	88人	168人	119人	26人	401人	63.8%
平成30年度	96人	133人	88人	21人	338人	67.7%
令和元年度	130人	113人	77人	20人	340人	71.4%
令和2年度	115人	118人	95人	28人	356人	65.4%
令和3年度	130人	184人	142人	38人	494人	63.6%

③ 児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移

年度	初診患者数	児童思春期 外来受診者数
平成28年度	385人	6,956人
平成29年度	376人	7,487人
平成30年度	317人	6,180人
令和元年度	320人	7,624人
令和2年度	328人	7,902人
令和3年度	318人	7,954人

④ 入院患者の動向（児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移）

年度	12歳以下 (A)	13～15歳 (B)	16～18歳	19歳	20歳以上	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
平成28年度	19人	41人	43人	2人	0人	105人	57.1%
平成29年度	13人	45人	35人	2人	0人	95人	61.1%
平成30年度	16人	44人	26人	1人	0人	87人	69.0%
令和元年度	21人	29人	26人	1人	0人	77人	64.9%
令和2年度	24人	55人	56人	8人	0人	143人	55.2%
令和3年度	17人	53人	30人	1人	0人	101人	69.3%

(4) 医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数

年 度	鑑定入院 患者数	入院処遇者実数	通院処遇者実数
平成28年度	1人	20人	4人
平成29年度	1人	24人	2人
平成30年度	1人	19人	1人
令和元年度	4人	19人	1人
令和2年度	2人	23人	0人
令和3年度	3人	24人	0人

## 7 各部門の実施状況

### (1) リハビリテーション部

#### ① デイケア

体制：看護師3名（うち非常勤2名）、精神保健福祉士1名、作業療法士1名

対象：外来通院中の患者、退院前の患者

実施内容：デイケア及びショートケア（月～金曜）

体力をつけるプログラム・作業能力を高めるプログラム等

外来講師プログラム（絵手紙）、教育プログラム

LST（自閉スペクトラム症の方のための生活対人技能トレーニング）

メタ認知トレーニング・病気との付き合い方トレーニング

WRAP等 病院行事参加

その他：訪問看護部門と協力し、適宜利用者宅への訪問を行っている

施設見学（就労支援施設等）

#### デイケア参加人数

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
デイケア	3,486	2,555	2,035
ショートケア	2,767	2,973	2,062
入院	18	2	2

#### プログラム実施状況

	手工芸	566	703	450
	軽スポーツ	4,826	4,520	3,206
	料理	44	23	-
	園芸	168	197	81
	創作活動	567	672	544
	自主活動	692	688	557
	季節イベント	579	84	62
	女子会	72	31	-
	ひだまり通信	72	31	76
	七宝焼	44	55	40
教育 プロ グラ ム 実 施 状 況	LST	30	48	35
	病気との付き合い方 トレーニング	25	44	86
	メタ認知トレーニング	168	122	155
	WRAP	75	144	109
	ダイエットプログラム	148	47	101
	SCIT（R4.2月から）	-	-	32
	SST	45	57	90
	就労準備プログラム	168	239	181
	アンダーコントロール	41	25	47
	上手に気持ちを伝えるプログラム	67	68	60
グ ラ ム 外 来 講 師	絵手紙	21	52	16

注：プログラム実施状況では、すべてのプログラムの実施件数を記載したため、実際の参加人数とは異なる

②作業療法

体制：作業療法士8名

対象：入院・通院の区別なく、急性期から慢性期まで対応。

実施内容：認知行動療法グループ、疾患別グループ、対象者の健康な部分を活用するグループ、個別プログラムなど特色あるプログラムを実施している。

また、精神科救急入院料病棟に対応したプログラムを開始している。

作業療法の実施状況

単位：人

プログラム		年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		外来	入院	外来	入院	外来	入院		
ふるみえ		-	3,102	-	3,819	-	2,685		
手工芸		-	1,002	-	658	-	618		
アトリエ		-	-	-	180	-	192		
思春期		-	537	-	543	-	515		
薬物回復プログラム 〈スマーフ〉	269 アルコール ※H25.6から	269	89	-	89	97	14		
発達障害プログラム	コグトレ ※H27.10から	-	6	32	6	-	-		
	ペアトレ	16	-	-	-	-	-		
	G- TOP	16	9	-	9	-	-		
心理教育〈つばさ〉		27	16	13	1	-	10		
コンカレントプログラム	母親グループ	10	-	4	-	15	-		
	子どもグループ	-	-	4	-	5	-		
1-1病棟			890	-	1,596	-	2,731		
1-2病棟			921	-	759	-	301		
2-1病棟			686	-	808	-	910		
2-2病棟			686	軽スポーツ	680	軽スポーツ	616		
		学び	68	学び	31	学び	41		
		ヨガ ストレッチ	485	ヨガ ストレッチ	476	ヨガ ストレッチ	511		
		フリー活動	531	フリー活動	673	フリー活動	726		
		病氣理解 プログラム	86	病氣理解 プログラム	56	病氣理解 プログラム	60		
2-3病棟			968	-	963	-	1,170		
個別			332	-	133	-	226		
合計		338	10,414	115	11,408	117	11,326		

注：請求件数外も含む。

ふるみえ：精神科集団作業療法。軽スポーツを中心に毎日実施。生活リズムをつけ、コミュニケーション技能の練習をすることにより、社会復帰への第一歩を踏み出します。

コグトレ：認知機能強化トレーニング（思春期）

ペアトレ：養育者への子育てサポート

アトリエ：急性期病棟で刺激に弱い方が対象。10名以下の静かな環境で手芸などの活動を行います。

個別：保護室での関わりから集団プログラムに参加できない方の個別プログラム実施など個人の病状にあわせ幅広く対応。個別対応が増加傾向。

③理学療法

体制：理学療法士1名

対象：廃用や疾患により身体機能が低下した入院中の患者

実施内容：身体機能に合わせて個別に対応し、必要に応じて運動メニューの作成を行っている。また、各病棟において実施している。

理学療法の実施状況

単位：人

病棟 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1-1 病棟	81	82	109
1-2 病棟	386	263	100
1-3 病棟	17	6	11
1-5 病棟	12	42	17
2-1 病棟	46	151	73
2-2 病棟	71	133	158
2-3 病棟	320	334	378
合計	933	1,013	846

その他：水曜日のふるみえに参加している。

リハビリテーション科医師への診察依頼（原則月2回）があった場合に同行している。

補装具の相談・検討を行う。必要に応じてリハビリテーション科医師・義肢装具士と連携する。

必要に応じて病棟と連携し、退院前訪問を行う。

## (2) 総合診療部

## ①心理室

## 心理療法の状況

区 分	件 数				
	平成29年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
個人心理療法	649	844	717	803	874
集団心理療法	438	408	274	583	706

## 心理検査の実施状況

種 別		件数		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
知能検査	WAIS-Ⅲ (成人知能検査)	66	-	-
	WAIS-Ⅳ (成人知能検査)	71	171	142
	WISC-Ⅲ (児童知能検査)	-	-	-
	WISC-Ⅳ (児童知能検査)	68	67	63
	鈴木ビネー知能検査	-	-	-
	田中ビネー知能検査	-	2	2
	JART	-	4	2
パーソナリティ検査	ロールシャッハテスト	55	51	52
	MMPⅠ	8	2	-
	SC T (文章完成法)	34	46	43
	描画テスト	6	34	25
	PF study	70	88	83
	エゴグラム	12	3	5
	小児ANエゴグラム	-	-	2
	プロジェクト・エゴグラム	1	-	-
	矢田部ギルフォード性格検査	8	3	2
認知機能検査 その他の心理検査	WMS-R (ウェクスラー記憶検査)	-	-	-
	DN-CAS	-	-	-
	前頭葉機能検査 (FAB)	1	5	10
	コグニスタット認知機能検査	3	1	-
	記銘力検査	-	3	1
	クレペリン精神作業検査	5	1	-
	ベンダーゲシュタルト検査	2	2	-
	ベントン視覚記銘力検査	-	2	3
	遂行機能障害群の行動評価 (BAD S)	6	6	4
	TSCC	1	1	-
	Conners 3	16	26	20
	CAARS	30	56	77
	PARS-TR	14	8	9
	FDT	-	2	-
	小学生の読み書きスクリーニング検査	4	6	1
	AQ	62	126	100
	MMSE-J	1	2	9
	長谷川式認知症スケール	1	4	4
	リバーミード行動記憶検査	3	2	5
	トレイルメイキングテスト	-	3	1
	CBCL	-	-	-
	CMAS 児童用顕在性不安検査	-	-	-
	その他	-	5	7
合 計		548	732	672

### 心理教育プログラム

他職種や他機関と協同して実施しているが、新型コロナウイルスの感染状況により、実施形態の変更や中止など制限せざるを得なかった。

種 別	人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
統合失調症心理教育（本人）	43	15	14
統合失調症家族心理教育	69	18	28
発達障害家族心理教育	74	0	11

### 集団プログラム

多職種で実施しているが、新型コロナウイルスの感染状況により、実施形態の変更や中止など制限せざるを得なかった。

種 別	人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コンカレントプログラム母親グループ	8	4	15
コンカレントプログラム子どもグループ	7	4	6
発達障害小学生プログラム	25	0	0
薬物・アルコール依存治療グループ	341	80	112

### ② 栄養科

#### 給食実績

年 度	延べ 給食数	内 訳					栄養指導	
		患者食		職員食	デイ ケア	その他	個人	集団
		一般食	治療食					
令和元年度	230,229	171,570	47,692	3,181	3,364	4,422	280	833
令和2年度	233,230	154,968	68,126	3,160	2,581	4,395	437	1,055
令和3年度	222,611	132,946	79,248	3,950	2,036	4,431	555	1,102

### ③ 薬剤科

#### 調剤実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
外来院内処方せん枚数	2,037 枚	1,852 枚	1,509 枚
入院処方せん枚数（内服・外用）	19,405 枚	20,733 枚	20,061 枚
入院注射せん枚数	3,942 枚	4,483 枚	2,917 件
服薬指導件数	1,533 件	1,875 件	1,003 件
服薬指導請求件数	914 件	1,147 件	421 件
持参薬確認件数	1,356 件	1,098 件	753 件
S S T（集団服薬指導）担当回数	22 回	26 回	28 回
薬物家族教室，心理教育担当回数	6 回	4 回	5 回
外来院外処方せん枚数	52,849 枚	53,003 枚	56,082 枚
院外処方せん発行率	96.3%	96.6%	97.4%

④研究検査科

臨床検査の実施件数（令和3年度）

区分	種別	件数	区分	種別	件数	
生化学	肝機能検査	30,758	細菌	嫌気性菌検査	56	
	腎機能検査	8,511		真菌検査	5	
	脂質検査	6,149		その他	15	
	内分泌検査	4,268	血清	梅毒検査	1,648	
	血中薬物検査	1,647		肝炎ウイルス検査	1,653	
	血液ガス分析	36		血液型	22	
	その他	24,319		クロスマッチ	0	
血液	血球検査	31,588	その他	54		
	血液凝固	607	生理	心電図	997	
	その他	93		脳波	677	
一般	尿検査	14,566		超音波	0	
	便検査	20		終夜睡眠ポリグラフ	48	
	その他	45	その他	82		
細菌	一般細菌	塗抹	64	病理	細胞診	1
		培養	124		染色体	0
		同定	63		その他	0
		感受性検査	63	遺伝子	COVID-19PCR	469
	結核菌	塗抹	9		計	128,157
		培養	9			
		同定	1			
		感受性検査	1			

撮影実施件数（令和3年度）

種別	件数
一般撮影	1,102
CT検査	222
MR I	789
計	2,113

### (3) 福祉連携サービス部

医療福祉相談室と地域医療連携室が協働して業務を実施している。  
患者や家族・地域の関係機関からの相談や依頼に応じるとともに、地域の隠れたニーズの把握に努めている。

- 1 ケースワークに関すること
  - ・入院治療に関する福祉相談、ケースワーク
  - ・外来治療、地域生活に関する福祉相談、ケースワーク
  - ・福祉マップの制作と配布
  - ・カンファレンスの積極的な開催
- 2 連携の積極的な推進
  - ・地域からの相談窓口としての役割
  - ・県立中央病院（同一市内の総合病院）との救急連携

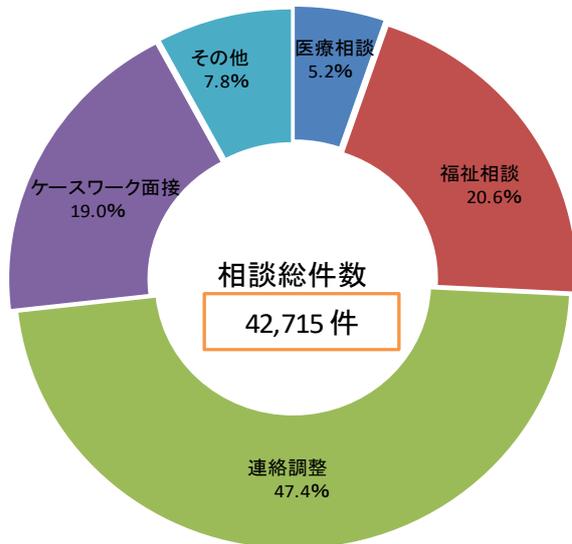
#### ① 医療福祉相談室

- 1 政策医療の推進に関すること
  - ・救急医療の推進
  - ・依存症医療の推進
  - ・思春期医療の推進
- 2 心理教育に関すること
  - ・統合失調症（本人・家族）
  - ・薬物・アルコール依存症（本人・家族）
  - ・ネット・ゲーム依存症（本人）
  - ・発達障害（本人・家族）
  - ・DV 被害者（本人・家族）
- 3 精神科ネットワーク事業に関すること（県内医療機関の連携づくり）

#### ② 地域医療連携室

- 1 アウトリーチ事業に関すること（地域のニーズの掘り起こしと課題解決活動）
    - ・こころの医療連携会議  
石岡市、笠間市、鉾田市、茨城町、大洗町、小美玉市の各市町と年 2～3 回ずつケースカンファレンス、勉強会、テーマを定めた協議・検討等を実施している。  
小美玉市においては、令和元年度より市主催として開催している。  
今年度は、コロナの感染状況に応じてオンラインに切り替えて開催した。年間計画のなか、WEB 開催が 8 回、対面開催が 4 回となった。
    - ・多職種訪問事業 延べ 67 件  
うち往診 13 件 従来型アウトリーチ（退院後訪問を含む）46 件  
往診のうち 8 件が入院に結び付いた。  
笠間市から「ひきこもり自立支援アウトリーチ事業」を受託し、8 件訪問を実施した。
  - 2 啓発活動に関すること
    - ・広報誌「こもれび」の発行（年 6 回） 各 1,000 部  
編集・発行は第 57 号から広報委員会に移行。
    - ・講演会、研修会への講師派遣 2 団体
  - 3 ボランティアの育成と協働事業の開催
    - ・毎月ボランティア定例会を開催し、ボランティアの育成・支援を実施する。
    - ・ボランティアとの協働による院内イベント開催時の支援。  
さくらまつり、サマーコンサート、文化祭、クリスマスコンサート
    - ・玄関案内（随時）や合併症病棟のボランティア散歩（月 2 回）等への支援。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 3 年度は全面見合わせ。

## 令和3年度 PSW業務実績内容



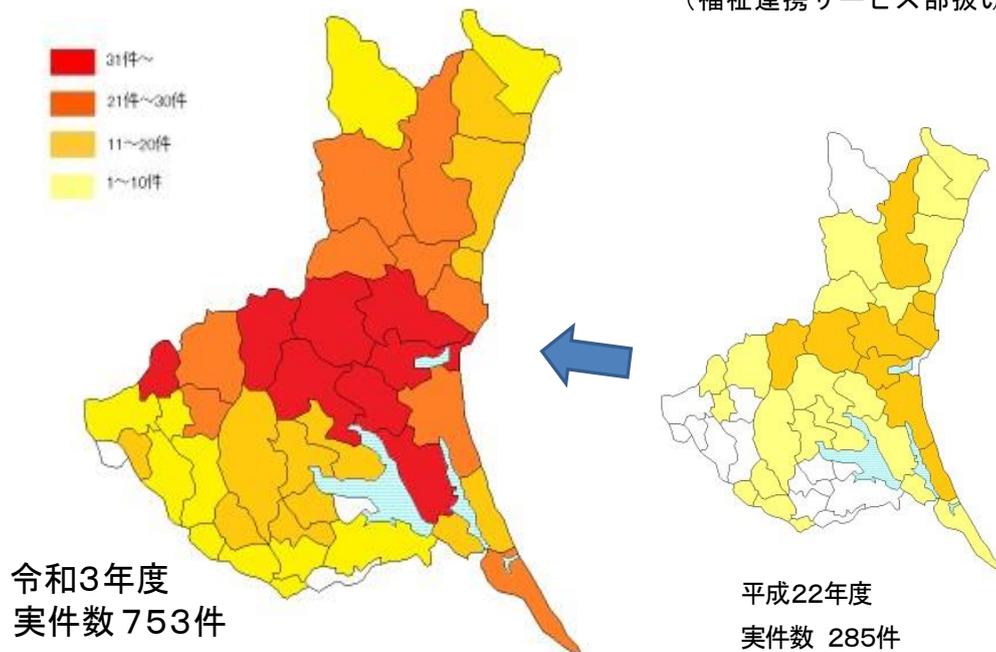
- **医療相談**  
行政救急対応・受診相談(外来, 入院)・転入院相談・転院相談・入退院援助 など
- **福祉相談**  
医療費・生活保護・施設通入所・介護保険・障害年金・福祉サービス・心理教育・就労相談・医観法業務 など
- **連絡調整**  
関係機関や家族との連絡・電話相談・カンファレンス など
- **ケースワーク面接**  
病棟(本人・家族)面談・家庭訪問・病棟行事参加 要望やクレーム等への対応 など
- **その他**  
未収金対応・資料作成

(参考)年度別 総相談件数

平成21年度	18,714件	平成27年度	33,925件
平成22年度	24,432件	平成28年度	34,994件
平成23年度	25,612件	平成29年度	36,551件
平成24年度	27,394件	平成30年度	36,897件
平成25年度	31,909件	令和元年度	38,359件
平成26年度	34,572件	令和2年度	42,715件

## 市町村別受診相談件数(人口10万人あたり)の推移

(福祉連携サービス部扱い)



公開講座開催実績

回数	開催年月	テ ー マ	講 師	
第1回	平成23年	6月 「病は夜つくられる」 ～睡眠時無呼吸症候群と心身の健康～	こころの医療センター 病院長 土井永史	
第2回		7月 「オレ、クスリやめたんだ…」 ～薬物依存症の入門からリハビリまで～	こころの医療センター 副院長 中村恵・医療局長 妹尾栄一	
第3回		8月 「傷つ子どもたち助けたい大人たち」 ～児童思春期精神科医療を訪れる子どもたち～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄	
第4回		9月 「幸せの黄色い救急車」 ～精神科に入院が必要なとき～	こころの医療センター 医長 白鳥裕貴	
第5回		10月 「うちに帰りたいんだ…退院できるかなあ」 ～慢性期統合失調症のリハビリと地域ケアについて～	こころの医療センター 医療局長 影山治雄	
第6回		11月 「これってホントに認知症？」 ～認知症の鑑別診断～	こころの医療センター 医療局長 佐藤雅士	
第7回	特別公開講座	1月 「いいMRI入りました」 ～最先端の脳画像検査～	こころの医療センター 医師 石川和宏・医師 田村昌士	
第8回		2月 「うつと自殺」 ～若者の自殺はどのようにして防げるのか～	筑波大学大学院講師 太刀川弘和 こころの医療センター 医師 井口俊大	
第9回		3月 「うつについて」	こころの医療センター 医師 井口俊大	
第10回		5月 「神経を癒す電磁気のカ」 ～電磁気刺激療法の新しい展開～	こころの医療センター 病院長 土井永史	
第11回		6月 「シネマ処方箋」 ～精神科医がすすめる、こころの病を描いた映画～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友	
第12回		7月 「児童・思春期精神科の入院」 ～一般精神科入院医療との違い～	こころの医療センター 医療局長 清水文雄	
第13回		8月 「思春期の摂食障害」 ～エビデンスにもとづくアプローチ～	こころの医療センター 副院長 中村恵・臨床心理士 稲沼邦夫	
第14回		9月 「こころのサインに気づく・つなげる」 ～自殺予防の基礎知識～	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友	
第15回		10月 「たまにはマジメな薬のお話でも…」 ～抗精神病薬の神経保護作用について～	こころの医療センター 医師 石川和宏	
第16回		11月 「認知症ってどんな病気、予防できるの？」	筑波大学 医学医療系臨床医学域精神医学教授 朝田隆	
第17回		平成24年	1月 「最近の若者のメンタルヘルス」 ～自殺予防の観点も踏まえて～	筑波大学保健管理センター医師 太刀川弘和
第18回			1月 「薬物依存症の理解と対策」 ～薬物専門外来の役割について～	こころの医療センター 副院長 中村恵
第19回			4月 「光でみる脳と心」 ～思考と感情のしくみを探る～	東京都医学総合研究所 ヒト統合脳機能プロジェクトリーダー 星詳子
第20回			6月 「うつ病に気づく・うつ病を治す」 ～光トポグラフィ検査にも触れて～	こころの医療センター 医療技術部長 大嶋明彦
特別講座			10月 「痛みにおけるこころと身体の問題」 ～痛みに対する身体的・心理的アプローチ～	東京都保健医療公社荏原病院
第21回	10月 「身体科と精神科の連携」		県立中央病院 総合診療科医長 関義元 県立中央病院 副院長 鍋木孝之	
第22回	3月 「精神医学的にみた夏目漱石」 ～病みながら生きる者への畏敬～		筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授 高橋正雄	
第23回	3月 「パーソナリティ障害の理解と対応・治療」		帝京大学附属病院 精神科病院教授 林直樹	
第24回	平成25年	6月 「やる気が起きない…」 「不安もいっぱい…」 適応障害の正しい知識と対応方法	こころの医療センター 医長 山形晃彦	
第25回		8月 「発達障害と医療」 ～本人の困っている思いと周囲はどのように付き合うのか～	こころの医療センター 医長 藤田俊之	
市民公開講座		3月 「睡眠・体内時計と健康づくり」	日本大学医学部 教授 内山真	
市民公開講座		3月 「病は夜つくられる」 ～睡眠呼吸障害と歯科・医科・薬科連携～	筑波大学睡眠医学講座 教授 佐藤誠	
市民公開講座	平成26年	3月 「睡眠・覚醒の謎に挑む」 ～神経科学研究の最前線～	筑波大学国際統合睡眠科学研究機構 教授 柳沢正史	
第26回		6月 「大人の発達障害」 ～本人の困っている思いと周囲はどう関わられるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文	
睡眠フォーラム in水戸		8月 「不眠時処方を一生涯に一度くらい考えてみる」	スタンフォード大学精神医学科 睡眠医学部門 クリニカルインストラクター 河合真	
第27回	平成27年	9月 「大人の発達障害」～本人の困っている思いと周囲はどう関わられるのか～	こころの医療センター副院長 堀孝文	
第28回		6月 「職場のメンタルヘルス」	こころの医療センター 医長 山形晃彦	
第29回	平成28年	10月 「災害時のこころの支援」	筑波大学 医学医療系准教授 こころの医療センター 地域・災害支援部長 高橋晶	
第30回	平成29年	9月 「薬物・アルコール依存について」	こころの医療センター 副院長 妹尾栄一	
第31回	平成30年	3月 「解離性障害について」	こころの医療センター 医師 日向 勝之	
第32回		9月 「境界性パーソナリティ障害について」	こころの医療センター 医師 水谷 洋介	
第33回	平成31年	2月 「シネマ処方箋～映画にみるこころの病～」	筑波大学 医療医学系 教授 災害・地域精神医学 高橋 祥友	
第34回		5月 「ねむりの問題について考えましょう」	こころの医療センター 医師 神林 崇 こころの医療センター 医師 近藤 英明	
第35回	令和4年	2月 「依存症について」	こころの医療センター 医師 小松崎 智恵	

#### (4) 訪問看護

- ① 開始日：平成6年4月1日
- ② 体制：看護師6名（再任用1名）、専用車3台
- ③ 目的：利用者に安心感を与え、周囲の人々とのつながりを持ちながら、可能な限り居宅で生活できるように支え、また、利用者自身が自らの力で問題解決をしながら生活を営めるように、様々な側面を支援する。
- ④ 支援内容：
  - 異常の早期発見・再燃の予防  
症状の観察・副作用の観察・服薬管理・受診行動（社会資源の活用）への援助・対処行動の指導・合併症のコントロール・身体状態の観察と指導など
  - 日常生活行動の援助：生活上の困り事への援助と調整、生活スキルの維持・向上支援
  - 対人関係調整
  - 健康の維持・向上の援助
  - 利用者の状態や困り事、社会資源の活用に関する多職種との連携  
医師・外来看護師・病棟看護師・ケースワーカー・デイケアスタッフ・作業療法スタッフ・市町村職員（福祉関係・保健関係）・地域活動支援センターなどの社会資源のスタッフなど
- ④ 訪問件数の推移

年 度	訪問件数	うち複数名による	年間対象者数 (年度末日)
		訪問件数	
平成28年度	3,047件	2,408件	192人
平成29年度	3,446件	2,098件	231人
平成30年度	3,517件	2,029件	237人
令和元年度	3,113件	1,805件	223人
令和2年度	2,464件	1,278件	220人
令和3年度	2,510件	1,613件	198人

- ⑤ 利用者等  
利用者は、50代が20%、60代が23%、70歳以上が21%と高齢化が進んでいる。

ii 睡眠医療クリニック

1 外来患者

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
平成 29 年度	初 診	37	33	47	40	30	33	37	37	29	33	25	30	411	11.7 人 (203 日)
	再 診	99	132	134	155	169	155	185	172	210	197	175	183	1,966	
	延患者数	136	165	181	195	199	188	222	209	239	230	200	213	2,377	
平成 30 年度	初 診	51	49	56	49	29	31	28	21	30	25	26	26	421	17.5 人 (208 日)
	再 診	208	227	243	269	261	262	311	266	304	279	311	269	3,210	
	延患者数	259	276	299	318	290	293	339	287	334	304	337	295	3,631	
令和元年度	初 診	29	26	44	44	25	32	48	25	43	37	44	30	427	21.8 人 (207 日)
	再 診	326	264	324	348	293	344	350	340	395	378	359	357	4,078	
	延患者数	355	290	368	392	318	376	398	365	438	415	403	387	4,505	
令和 2 年度	初 診	24	17	29	46	35	30	31	24	33	20	30	29	348	30.7 人 (153 日)
	再 診	410	322	346	367	360	342	367	356	394	342	362	385	4,353	
	延患者数	434	339	375	413	395	372	398	380	427	362	392	414	4,701	
令和 3 年度	初 診	21	20	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	48.7 人 (17 日)
	再 診	414	316	54	/	/	/	/	/	/	/	/	/	784	
	延患者数	435	336	57	/	/	/	/	/	/	/	/	/	828	

## 2 主な検査実績

終夜睡眠ポリグラフィー検査（携帯型装置使用） 163 件

## 3 診療圏（令和3年度）

市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水戸市	247	46.7	鹿嶋市	6	1.1	東茨城郡	22	4.2
日立市	25	4.7	潮来市	0	0	那珂郡	11	2.1
土浦市	4	0.8	守谷市	0	0	久慈郡	2	0.4
古河市	0	0	常陸大宮市	12	2.3	稲敷郡	0	0
石岡市	7	1.3	那珂市	25	4.7	結城郡	0	0
結城市	0	0	筑西市	0	0	猿島郡	0	0
龍ヶ崎市	1	0.2	坂東市	0	0	北相馬郡	0	0
下妻市	0	0	稲敷市	0	0	<b>郡計</b>	<b>35</b>	<b>6.7</b>
常総市	0	0	かすみがうら市	1	0.2	<b>県内合計</b>	<b>528</b>	<b>99.8</b>
常陸太田市	21	4.0	桜川市	5	0.9			
高萩市	2	0.4	神栖市	2	0.4	東京都	1	0.2
北茨城市	4	0.8	行方市	4	0.7	その他県	0	0
笠間市	44	8.3	鉾田市	11	2.1	<b>県外合計</b>	<b>1</b>	<b>0.2</b>
取手市	0	0	つくばみらい市	0	0			
牛久市	0	0	小美玉市	8	1.5			
つくば市	5	0.9	<b>市計</b>	<b>493</b>	<b>93.1</b>			
ひたちなか市	59	11.1				<b>総計</b>	<b>529</b>	<b>100</b>

## V 決算の状況

### 1 損益計算書（税抜き）

（単位：円）

項目	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
病院事業収益		3,872,484,812	3,864,652,601	4,064,119,821	4,332,421,606
(1) 医業収益		2,881,879,064	2,884,461,482	2,900,217,021	2,830,445,453
入院収益		2,117,849,362	2,100,020,065	2,122,804,737	2,036,766,274
外来収益		514,774,499	529,852,605	520,028,653	502,769,661
その他医業収益		249,255,203	254,588,812	257,383,631	290,909,518
(2) 医業外収益		990,605,748	979,924,839	1,159,197,406	1,489,045,424
受取利息		111,952	82,410	18,318	19,111
他会計補助金		17,597,450	18,234,660	225,469,120	526,923,420
他会計負担金		799,655,000	751,184,000	721,944,000	745,777,000
患者外給食収益		892,963	1,189,884	1,220,373	1,577,830
長期前受金戻入		137,371,572	139,663,280	143,437,336	143,071,802
資本費繰入収益		21,213,000	55,388,000	54,888,000	57,600,000
その他医業外収益		13,763,811	14,182,605	12,220,259	14,076,261
(3) 特別収益		0	266,280	4,705,394	12,930,729
病院事業費用		3,927,652,605	3,961,007,840	3,997,061,516	4,122,234,852
(1) 医業費用		3,781,966,146	3,832,059,728	3,859,675,839	3,977,342,552
給与費		2,676,970,530	2,725,633,278	2,753,025,709	2,866,518,434
材料費		150,594,032	151,923,660	153,539,299	149,591,945
経費		608,574,600	621,567,036	632,280,150	620,421,772
減価償却費		333,528,241	319,589,687	313,454,431	309,462,577
資産減耗費		1,119,908	789,033	1,489,400	23,592,764
研究研修費		11,178,835	12,557,034	5,886,850	7,755,060
(2) 医業外費用		118,117,083	124,876,878	133,117,046	139,783,828
支払利息		53,145,583	50,613,919	48,855,627	47,124,473
雑費用		64,971,500	74,262,959	84,261,419	92,659,355
(3) 特別損失		27,569,376	4,071,234	4,268,631	5,108,472
(収益) - (費用)		△55,167,793	△96,355,239	67,058,305	210,186,754

## 2 貸借対照表（税抜き）

（単位：円）

項 目		年 度		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
資 産	固定資産	土地		6,510,735	6,510,735	6,510,735	6,510,735
		建物		3,738,741,289	3,575,295,574	3,406,819,115	3,214,359,400
		構築物		183,336,691	144,693,660	106,050,629	74,616,363
		器械備品		442,335,306	372,165,254	326,166,788	280,056,275
		車両		5,420,901	4,076,483	3,892,541	2,935,191
		リース資産		10,212,024	6,722,256	32,637,263	23,407,274
		建設仮勘定		0	0	0	11,727,273
		電話加入権		38,000	38,000	38,000	38,000
		その他無形固定資産		23,470,462	20,188,576	16,906,690	13,624,804
		長期前払消費税		23,455,660	22,310,802	25,555,927	24,930,204
		計		4,443,521,068	4,152,001,340	3,924,577,688	3,652,205,519
	流動資産	現金・預金		1,496,663,055	1,381,660,895	1,305,366,347	1,650,019,106
		未収金		544,501,935	479,082,574	614,076,233	571,183,070
		貸倒引当金		△37,482,828	△35,330,865	△25,544,461	△11,385,632
		貯蔵品		8,099,875	6,975,291	11,418,310	8,580,578
計			2,011,782,037	1,832,387,895	1,905,316,429	2,218,397,122	
資産合計			6,445,303,105	5,984,389,235	5,829,894,117	5,870,602,641	
負 債	固定負債	その他固定負債		3,732,701,889	3,464,406,226	3,292,392,185	3,156,437,105
		計		3,732,701,889	3,464,406,226	3,292,392,185	3,156,437,105
	流動負債	未払金		315,016,715	252,534,045	234,457,665	292,094,225
		その他流動負債		433,412,920	453,124,902	469,675,236	426,241,328
		計		748,429,635	705,658,947	704,132,901	718,335,553
	繰延収益	長期前受金		1,995,334,155	2,081,505,155	2,176,929,155	2,272,275,155
		収益化累計額		△894,442,060	△1,034,105,340	△1,177,542,676	△1,320,614,478
		計		1,100,892,095	1,047,399,815	999,386,479	951,660,677
	負債合計			5,582,023,619	5,217,464,988	4,995,911,565	4,826,433,565
	資 本	資本金	自己資本金		3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
計				3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648	3,852,950,648
剰余金		資本剰余金		-	-	-	-
		利益剰余金		△2,989,671,162	△3,086,026,401	△3,018,968,096	△2,808,781,342
		計		△2,989,671,162	△3,086,026,401	△3,018,968,096	△2,808,781,342
資本合計			863,279,486	766,924,247	833,982,552	1,044,169,306	
負債・資本合計			6,445,303,105	5,984,389,235	5,829,894,117	5,870,602,641	

### 3 財務分析

項 目		年 度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産及び資本構成 (%)	固定資産構成比率	68.8	69.4	67.3	62.2
	自己資本構成比率	13.4	12.8	14.3	17.8
	固定比率	513.6	541.4	470.6	349.8
	固定資産対長期資本比率	96.5	98.1	95.1	86.9
	流動比率	268.8	259.7	270.6	308.8
	現金比率	200.0	195.8	185.4	229.7
回 転 率 (回)	自己資本回転率	0.75	0.75	0.75	0.73
	固定資産回転率	0.63	0.67	0.74	0.75
	未収金回転率	5.54	5.64	4.72	4.78
損益比率 (%)	総収益対総費用比率	98.6	97.6	101.7	105.1
	医業収益対医業費用比率	76.2	75.3	75.1	71.2
	不良債務比率	-	-	-	-

4 経営分析

項 目		年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		入院	外来				
病床利用率 (%)				82.4	78.4	78.1	72.7
外来入院患者比率 (%)				85.6	90.3	90.0	94.0
1日あたり 患者数 (人)	医師	入院		11.4	9.8	9.4	8.1
		外来		9.7	8.9	8.4	7.6
	看護 部門	入院		1.3	1.2	1.2	1.1
		外来		1.1	1.1	1.1	1.1
患者1日1人あたり 診療収入 (円)		入院		25,509	26,501	26,987	27,803
		外来		7,246	7,409	7,344	7,305
職員1日1人あたり 診療収入 (円)		医師		360,633	326,611	314,810	281,140
		看護 部門		40,070	39,051	40,226	39,070
患者1日1人あたり 薬品費 (円)		投薬		422	405	387	373
		注射		391	404	425	446
		計		813	809	812	819
薬品使用効率 (%)		投薬		92.6	94.8	98.2	97.4
		注射		102.7	100.7	103.4	108.1
医療材料消費率 (%)				5.7	5.7	5.8	5.8
診療収入に 対する割合 (%)		投薬注射収入		4.6	4.5	4.6	4.7
		検査収入		1.1	1.2	1.3	1.6
		放射線収入		0.4	0.4	0.4	0.5
対医業収益費 (%)		薬品費		4.3	4.2	4.2	4.1
		その他材料費		0.8	1.0	1.1	1.2
		職員給与費		92.9	94.5	94.9	101.3
患者100人 あたり (件)		検査件数		73.9	80.8	89.8	90.2
		放射線件数		1.4	1.5	1.7	1.5
病床100床 あたり職員数 (人)		医師		7.2	8.0	8.3	8.7
		看護部門		65.2	66.7	65.2	64.5
		全職員		96.0	98.9	97.5	96.4
職員1人あたり給与費 (千円)				7,256	7,410	7,502	7,424

\*病床利用率は、運用病床で算出している。

## VI 令和4年度予算

### 1 収益的収入及び支出

収入

(単位：千円，%)

款	項	目	予算額	構成比
事業収益			4,207,583	100
	1 医業収益		3,116,899	74.1
		1 入院収益	2,302,688	54.7
		2 外来収益	525,506	12.5
		3 その他医業収益	288,705	6.9
	2 医業外収益		1,089,684	25.9
		1 受取利息	300	0
		2 他会計補助金	89,438	2.1
		3 他会計負担金	814,376	19.4
		4 患者外給食収益	1,000	0
		5 長期前受金戻入	125,327	3.0
		6 資本費繰入収益	45,987	1.1
		7 その他医業外収益	13,256	0.3
	3 特別利益		1,000	0
		1 固定資産売却益	0	0
		2 過年度収益修正益	1,000	0

支出

款	項	目	予算額	構成比
事業支出			4,177,844	100
	1 医業費用		4,087,466	97.8
		1 給与費	2,899,906	69.5
		2 材料費	196,832	4.7
		3 経費	690,640	16.5
		4 減価償却費	281,241	6.7
		5 資産減耗費	2,510	0
		6 研究研修費	16,337	0.4
	2 医業外費用		83,378	2.0
		1 支払利息	45,148	1.1
		2 雑費用	28,671	0.7
		3 消費税	9,559	0.2
	3 特別損失		6,000	0.2
		1 固定資産売却損	0	0
		2 過年度損益修正損	6,000	0.2
		3 その他特別損失	0	0
	4 予備費		1,000	0

### 2 資本的収入及び支出

収入

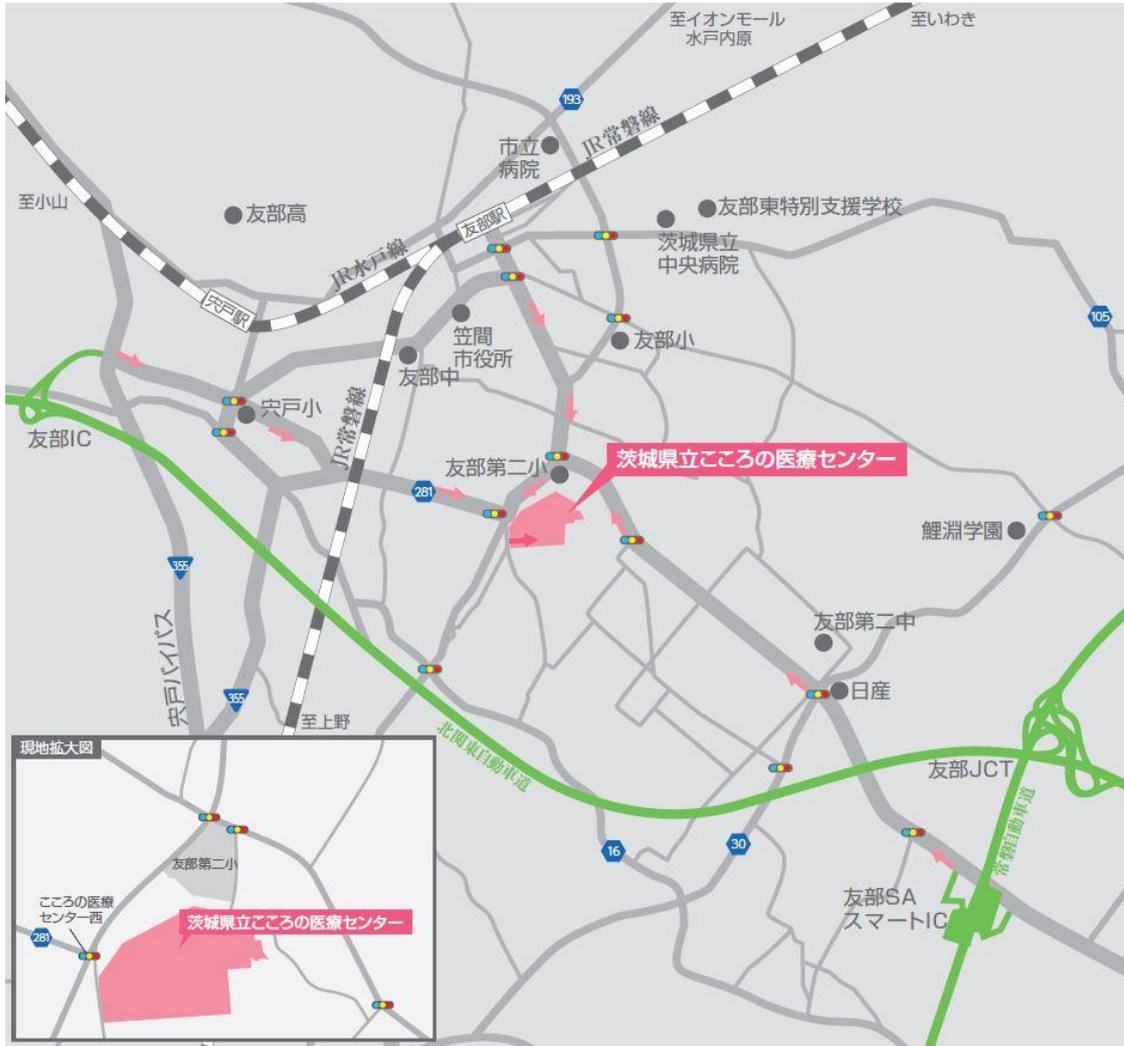
(単位：千円，%)

款	項	目	予算額	構成比
資本的収入			217,825	100
	1 企業債		91,300	41.9
		1 企業債	91,300	41.9
	2 負担金		126,525	58.1
		1 負担金	126,525	58.1
	3 補助金		0	0
		1 国庫補助金	0	0

支出

款	項	目	予算額	構成比
資本的支出			350,594	100
	1 建設改良費		97,364	27.8
		1 建設改良工事	57,218	16.3
		2 資産購入費	34,119	9.8
		3 リース資産購入費	6,027	1.7
	2 償還金		253,050	72.2
		1 企業債償還金	253,050	72.2
	3 投資		180	0
		1 その他投資	180	0

# Access Map



## 交通のご案内

### ◎JR友部駅からバス(茨城交通)をご利用の場合

- ・「こころの医療センター・モノタロウ行き」に乗り、「こころの医療センター」下車
- ・「水戸駅行き」「循環」に乗り、「友部第二小学校前」下車、徒歩8分

### ◎自動車をご利用の場合

- ・JR友部駅から約7分
- ・常磐自動車道水戸ICから約20分
- ・常磐自動車道岩間ICから約20分
- ・常磐自動車道友部SAスマートIC(ETC専用)から約15分
- ・北関東自動車道友部ICから約10分



### 予約申込 当院の外来診療は予約制です。

■外来初診予約センター  
TEL.0296-77-1359  
■予約の変更・キャンセル  
TEL.0296-77-1159

■児童・思春期予約センター  
TEL.0296-77-1624  
■予約の変更・キャンセル  
TEL.0296-77-1151

月曜日から金曜日まで  
(祝祭日・12月29日から1月3日までを除く。)



## 茨城県立こころの医療センター

〒309-1717 茨城県笠間市旭町 654  
電話：0296-77-1151(代表)  
(URL) <https://www.mc-kokoro.pref.ibaraki.jp/>